

三陸防災復興シンポジウム

分科会：災害看護・災害時の公衆衛生

中長期の復興を見据えて
～いまもなお復興途上にある被災地から～

2019年6月2日(日) 13:30～16:00

定員 150名
入場無料

釜石市民ホール TETTO【ホールB】岩手県釜石市大町1-1-9

基調講演 13:30～14:10

「中長期的な人々の生活と健康を視野に入れた災害時の看護活動・保健活動について」

講師：オフィスいわむろ 代表 岩室 紳也 氏
(陸前高田市ノーマライゼーション大使)



パネルディスカッション 14:10～16:00

「有事も平時もできる人ができることを
～被災地の経験から日々の生活につながること～」

コーディネーター：岩室 紳也 氏(オフィスいわむろ代表)

佐々木 亮平 氏(岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座助教)

パネラー：松尾 洋 氏(株式会社くまもと健康支援研究所代表取締役)

佐々木 ひろ子 氏(釜石市食生活改善推進員協議会会長)

小野寺 直子 氏(岩手県立中央病院 特任看護師)

参加申込方法

以下の方法で事務局へお申し込みください。

- ①「メール」でのお申し込み、②「FAX」でのお申し込み
「住所」「氏名」「連絡先電話番号」「FAX番号」(FAXでのお申し込みの場合)をご記入の上、「三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会事務局」へメール(sanpuro2019@tvi.co.jp)、FAX(019-624-0174)までご送信ください。 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

お申し込み先 FAX 019-624-0174

参加申込書

申込締切:5月20日(月)必着

三陸防災復興シンポジウム 分科会:災害看護・災害時の公衆衛生

氏名			
住所	〒 —		
TEL		FAX	

【参加者アンケート】次の視点について、お考えをお聞かせください。(自由記載)

- ①自然災害から生活と健康を守るために、日頃から備えておく必要があると考えること。
- ②自然災害による被災直後に、生活と健康を守る活動において必要だったものや大切だと感じたもの・こと。
- ③災害から一定程度経過した時期において、生活と健康を守る活動として重要と感じるもの・こと。

